



### 3. 教育課程

# 全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、これらの科目を通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方、及び幅広い教養を身につけます。

## 有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修確認・訂正最終日（16:30）までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数 (上限)	評価	認定基準
総合英語 I／総合英語 II／ 総合英語 III／ 英会話 I／英会話 II／英会話 III	2	認定	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL iBT 42 点以上 72 点未満 TOEIC L&R 550 点以上 785 点未満 TOEIC S&W 240 点以上 310 点未満
	4	認定	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL iBT 72 点以上 95 点未満 TOEIC L&R 785 点以上 945 点未満 TOEIC S&W 310 点以上 360 点未満
	6	認定	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL iBT 95 点以上 TOEIC L&R 945 点以上 TOEIC S&W 360 点以上
中国語 I／中国語 II	2	認定	中国語検定試験 3 級以上
韓国語 I／韓国語 II	2	認定	韓国語能力試験 2 級以上
フランス語 I／フランス語 II	2	認定	実用フランス語技能検定試験 3 級以上
ポルトガル語 I／ポルトガル語 II	2	認定	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルトガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

- 注意 1. この制度の運用は内規により行います。  
2. 既に単位認定された科目についての申請は認めません。  
3. 英語部門は、既にこの制度による単位認定を受けた資格より上級の資格を取得した場合、再度申請することができます。ただし認定単位数の合計は上級の資格による単位数を上限とします。

# スポーツ健康科学部科目について

---

次にあげる科目は履修登録や成績評価、授業の方法等において特徴のある科目です。履修登録前に熟読し十分な理解をしておいてください。

## ① 同一科目名の再履修について

単位を修得できなかった科目を、同一年度内に再履修することはできません。

## ② 演習科目について

ア. 基礎演習は、基本的な学習スキル、読む・聞く・見る・検索するなどの情報収集能力及び必要な情報を取捨選択する能力や、その情報に基づいて結論を導く能力、その結論について書く・話すなどの表現・発信の能力を訓練するための必修科目です。各クラス20名程度で編成されます。

基礎演習Ⅰ・Ⅱのそれぞれの到達目標はどのクラスも同じです。

イ. 専門基礎演習は学生自身が主体的に一定のテーマに沿って実践的に学び、専門的知識を深め、その結果をまとめ、発表できる能力をつけるための必修科目です。

ウ. 専門演習は、各教員の専門分野を中心に指導を受け、各自の興味のある課題について調査・研究し、ゼミで発表する過程を通じて卒業研究あるいは研究成果の作成へと発展させていく、重要な必修科目です。各ゼミ15～20名程度で編成します。ゼミを自由に選択できますが、専門演習Ⅰ・Ⅱ（3年次）、専門演習Ⅲ・Ⅳ（4年次）は、原則として同じゼミに所属となります。

# 履修コースについて

---

## スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科（S122生）

### スポーツ教育コース

我が国では少子高齢化と児童生徒の運動不足が懸念されています。中学校や高等学校の保健体育の教師になるためには、陸上、球技、水泳、器械運動、武道、野外スポーツ、ダンスなど教育の現場で扱われる幅広い運動種目を教えられる実技指導能力を身につけなければなりません。それと同時に、運動の理論や保健の知識、さらには応急処置、栄養学、医学などさまざまな知識を養い、生徒が安全に且つ楽しく運動ができる力を身につける必要があります。このコースでは、保健体育の授業に対応できる実技指導力と専門的な知識を兼ね備えた保健体育教諭を育成します。

### スポーツコーチコース

本コースでは、対象者の年齢・体力・技術に合わせて練習プログラムを作成、指導のできる実践的な知識とスキルを基礎から応用まで幅広く学修し、競技スポーツにおけるトップアスリートのコーチから、地域スポーツや生涯スポーツの指導者まで、幅広い領域で活躍できるスポーツ指導者の育成を目指します。従来の精神主義・根性主義のコーチングではなく、最新のスポーツ科学の知見に基づき、科学的なデータに基づいたコーチングのできる指導者を養成します。

### 健康トレーナーコース

交通機関や電子機器の進化によって、私たちの日常生活は非常に便利になりました。しかし同時に、自分自身の手足を使わずに済むようになったため、人間の身体に本来は備わっているはずの機能を弱めたり、さらには健康そのものを失う状況が生まれています。運動不足による子どもの体力低下や中高齢者の生活習慣病、介護の増加は、世界一の少子高齢社会である日本ではとても深刻な問題です。そしてこの社会問題は、国民一人ひとりが意図的に身体活動を行うことで解決が可能であり、健康づくりには食生活・栄養とともに、運動・スポーツがとても重要な役割を果たします。本コースでは、運動・スポーツと健康に関する専門的な知識と技能を習得し、対象者の年齢、性別、健康、体力レベルに合わせた適切な運動プログラム作成と指導ができる健康づくり指導者を養成します。

# 卒業要件

東海学園大学スポーツ健康科学部を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

## ▼スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科（S122生）

科目群	授業科目区分	④各科目区分において卒業に必要な修得単位数	⑤各群において卒業に必要な修得単位数	⑥卒業に必要な修得単位数
全 学 共 通 科 目 群	ともいき人間教育	必修4単位	25単位以上  合計で 108単位 以上	124単位 以上
	ともいき教養教育			
	ともいき実践教育			
	日本語			
	英語	必修6単位		
	情報報			
	身体教育			
専 門 科 目 群	外国語コミュニケーション		58単位 以上	
	キャリア形成	必修4単位		
	導入科目	必修4単位		
	基礎科目	必修4単位を含め6単位以上		
演習科目群	基幹科目	必修4単位を含め8単位以上		
	展開科目	40単位以上		
演習科目群		必修16単位		

- ① スポーツ健康科学部の教育課程は、全学共通科目群、専門科目群および演習科目群によって構成されています。各科目群の中にはそれぞれ授業科目区分があり、さらにその区分の中に各科目が配置されています。
- ② 卒業するためには、上記の表の④⑤⑥すべての単位数条件を満たす必要があります。修得が必要な科目的詳細については、開講科目一覧表で確認してください。
- ③ 1年間で履修登録できる単位数の上限は49単位です。

## 標準修得単位数

各学年終了時までに修得することが望ましい単位数の目標は以下の通りです。

以下のものはあくまで目安ですから、この単位数に満たなくとも次の学年に進むことはできます。ただし、第4学年終了時までには124単位以上が必要です。無理なく卒業できるように、各学年終了時にこの程度の単位数は修得するようにしてください。

第1学年終了時：35単位以上

第2学年終了時（2年間の合計）：70単位以上

第3学年終了時（3年間の合計）：100単位以上

第4学年終了時（4年間の合計）：最低124単位以上

- \* 上記の数値は各学年終了時における標準修得単位数です。この数値以上の単位修得をめざしてください。
  - \* 卒業には、合計の単位数だけではなく、必修科目が修得されていること、各科目区分ごとに決められた単位数が満たされていることが条件になります。
- (注) 就職活動等で必要な卒業見込証明書は、3 学年終了時に90単位以上修得している学生に限り発行されます。

# 開講科目一覧表

《表の見方》 「形態」欄：L = 「講義」 P = 「実験」「実習」「実技」等 S = 「演習」  
 「免許・資格」欄：○ = 必修科目 △ = 選択必修科目

## ▼スポーツ健康科学科 (S122生)

※免許・資格取得に必要な科目以外に、それぞれの免許・資格に必要な履修要件がありますので、必ず免許・資格のページを確認してください。

区授業科目分目	授業科目的名称	形態	開講年次	単位数			免許・資格								備考	
				必修	選択	自由	保育士	スポーツ障害指導員者	アコニチング	マネジメント	実践康	健	*レクリエーション	トレーニング		
全 学 通 科 目 群	人と間も教、育き	共生人間論 I (ブッダと法然)	L 1	2												必修4単位
		共生人間論 II	L 3	2												
		共生人間論 実習	P 2		1											
	と も も い き か き 教 育	自然環境と共生	L 1		2											
		生物多様性と共生	L 1		2											
		生命の科学	L 1		2											
		生活と化学	L 1		2											
		栄養・食生活とSDGs	L 1		2											
		地球と災害	L 1		2											
		脱炭素社会	L 2		2											
		森林環境保全	L 3		2											
		持続可能な開発目標(SDGs)と共生	L 1		2											
		暮らしと経済	L 1		2											
		現代社会と生活	L 1		2											
		社会福祉と共生	L 1		2											
		多文化共生	L 2		2											
		市民社会と政治	L 3		2											
		国際事情	L 3		2											
		憲法と基本権	L 1		2		○									
		社会生活と法	L 2		2											
		日本の文化	L 1		2											
		哲学の基礎	L 1		2											
		倫理学の基礎	L 3		2											
		心のメカニズム	L 1		2											
		日本の歴史	L 1		2											
		世界の歴史	L 1		2											
		日本の文学	L 1		2											
		外国の文学	L 2		2											
	ともいき実践教育	地域社会と共生 A	P 1		1											
		地域社会と共生 B	P 2		2											
		ESD の実践と展開	P 2		2											
		海外文化研修 A	P 1		1											
		海外文化研修 B	P 1		2											
		海外文化研修 C	P 1		4											
		海外文化研修 D	P 1		6											
		日本文化(書道)	P 4		1											
		日本文化(陶芸)	P 3		1											
		日本文化(華道)	P 4		1											

区授業科目分目	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			免許・資格						備考	
				必修	選択	自由	保育士	保健師	アシスタント	(公認水泳指導者)	マネージャー	実践健康指導者	健康運動指導士	
全 学	日本語表現法 A (音声)	P	1	2										必修6単位
	日本語表現法 B (文章)	P	1	2										
	総合英語 I	L	1	1			△							
	総合英語 II	L	1	1			△							
	総合英語 III	L	2	1										
	英会話 I	P	1	1			△							
	英会話 II	P	1	1			△							
	英会話 III	P	2	1										
	英語リーディング	P	3		1									
	英語ライティング	P	2		1									
共通	情報リテラシー A	P	1		1		○							
	情報リテラシー B	P	1		1		○							
	数学の基礎	L	1		2									
	データサイエンス	L	2		2									
	プログラミング	L	2		2									
身体教育	健康と運動	L	1		2		○							
	スポーツ A	P	1		1		△							
	スポーツ B	P	1		1		△							
	スポーツ C	P	1		1		△							
科目群	中国語 I	P	2		1		△							
	中国語 II	P	2		1		△							
	韓国語 I	P	2		1									
	韓国語 II	P	2		1									
	フランス語 I	P	2		1									
	フランス語 II	P	2		1									
	ポルトガル語 I	P	2		1									
	ポルトガル語 II	P	2		1									
群	キャリアデザイン I	P	1	2										必修4単位
	キャリアデザイン II	P	1	2										
	キャリアデザイン III	P	2		2									
	インターンシップ	P	2		2									
	ボランティア活動	P	2		2									

区授業科目分目	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数		免許・資格							備考		
				必修	選択	自由	保育士	障がい者支援員	アシスタント	(公認)マネージャー	実践マネージャー	健康運動指導士	*トレーニング指導者		
導入科目	スポーツ科学概論	L	1	2										必修4単位	
	健康科学概論	L	1	2				○						○	
基礎科目	スポーツ医学	L	1		2										必修4単位を含め6単位以上
	生理学	L	1	2			○								
	衛生学	L	2		2		○								
	公衆衛生学	L	1		2		○								
	機能解剖学	L	1	2					○		○	○		○	
	バイオメカニクス	L	1	2			○	○			○	○		○	
専門科目	トレーニング科学	L	2		2			○	○		○	○		○	必修4単位を含め8単位以上
	運動生理学	L	2	2			○	○			○	○		○	
	健康管理論	L	2		2						○	○			
	体育原理	L	2		2		○								
	コーチング科学	L	2		2			○						○	
	スポーツ心理学	L	1		2		△	○						○	
	スポーツ社会学	L	2		2		△	○							
	小児保健	L	3		2		○								展開科目40単位以上
科目群	精神保健	L	2		2		○								
	学校保健(学校安全を含む)	L	2		2		○								
	救急処置法	L	3		2		○	○	○		○	○		○	
	健康心理学	L	3		2						○	○			
	スポーツ栄養学	L	2		2						○	○		○	
	健康栄養食品学	L	3		2										
	発育・発達老化論	L	3		2			○			○				
	生活習慣病と運動	L	3		2							○			
	体力測定・評価	L	2		2						○	○		○	
	運動処方の理論と実習I	L	2		2							○		○	
	運動処方の理論と実習II	L	3		2							○			
	スポーツ障害	L	3		2				○		○	○		○	
	トレーニング実習I	P	2		1						○	○		○	
	トレーニング実習II	P	3		1						○	○		○	
	野外活動(キャンプ)	P	3		1		△								
	体育経営管理学	L	3		2		△							○	
	スポーツ政策論	L	4		2										
	スポーツマネジメント論	L	4		2						○				
	スポーツマーケティング論	L	4		2										

区授業科目分目	授業科目的名称	形態	開講年次	単位数		免許・資格								備考		
				必修	選択	自由	保育士	保健指導員	障がい者指導員	アシスタント	アシスタント(公認水泳コーチ)	マネージャー(アシスタン	実践指導員	健康運動指導士	*トレーニングインストラクター	トレーニング導入者
専展門開科目群	障がい者スポーツ論	L	3		2		○									展開科目 40単位以上
	レクリエーション論	L	2		2										○	
	レクリエーション実技Ⅰ	P	2		1										○	
	レクリエーション実技Ⅱ	P	2		1										○	
	体育実技(陸上競技Ⅰ)	P	1		1	○										
	体育実技(陸上競技Ⅱ)	P	1		1	○										
	体育実技(球技A:ゴール型)	P	1		1	○										
	体育実技(球技B:ネット型・ベースボール型)	P	1		1	○										
	野外活動(ウインタースポーツ)	P	2		1	△										
	体育実技(水泳)	P	3		1	○										
	体育実技(武道)	P	3		1	○										
	体育実技(ダンス)	P	3		1	○										
	体育実技(体づくり運動・器械運動)	P	3		2	○										
	スポーツ実習(陸上)	P	1		1											
	スポーツ実習(バスケットボール)	P	1		1											
	スポーツ実習(バレーボール)	P	1		1											
	スポーツ実習(サッカー)	P	1		1											
	スポーツ実習(ハンドボール)	P	1		1											
	スポーツ実習(体操)	P	2		1											
	スポーツ実習(水泳)	P	2		1					○		○	○			
	スポーツ実習(水中運動)	P	3		1							○	○			
	スポーツ実習(エアロビクスダンス)	P	3		1							○	○			
	スポーツ実習(マリンスポーツ)	P	2		1											
	スポーツ統計学	P	3		2											
	運動生理学実験	P	2		1											
	バイオメカニクス実験	P	2		1											
	スポーツ心理学実験	P	2		1											
	コーチング科学実習	P	3		1											
	コンディショニング論	P	3		2										○	
	アスレチックトレーニング	P	3		1											
	スポーツ指導論	L	2		2				○						○	
	トップアスリート論	L	2		2											
	生涯スポーツ論	L	3		2											
	地域スポーツ論	L	3		2							○				
	サッカー審判法	P	2		1											

区授業科目分目		授業科目の名称	形態	開講年次	単位数	免許・資格							備考		
						必修	選択	自由	保中 健高 体一 育種	障 ボ ー ツ 指 導 員 者	ア コ シ ス タ ン ト グ	(公認 マネジ スイ ント ン)	実践 マニ ジス タント 者)	健康 運動 指導 士	* トレーニ ング インストラ クタ ン
専門科目群	専展科目	ス ポ ー ツ 審 判 法	P	4	1										展開科目 40単位以上
		水 泳 C 級 I	P	3	1					○					
		水 泳 C 級 II	P	3	1					○					
		インター シップ A	P	3	2								○	△	
		インター シップ B	P	3	1								△		
		保健体育科指導法（陸上競技）	P	3	1	○									
		保健体育科指導法（体つくり運動・器械運動）	P	3	1	○									
		保健体育科指導法（球技）	P	3	1	○									
		保健体育科指導法（武道）	P	3	1	○									
		保健体育科指導法（水泳）	P	3	1	○									
		保健体育科指導法（ダンス）	P	3	1	○									
	開科目	保健体育科指導法（中学校）	L	3	2	○									
		保健体育科指導法（高校）	L	3	2	○									
		体 育 史	L	2	2	△									
		教 育 原 理	L	1	2	○									
		教 職 概 論	L	1	2	○									
		教 育 制 度 論	L	2	2	○									
		教 育 心 理 学	L	2	2	○									
		特 別 支 援 教 育	L	2	1	○									
		教 育 課 程 論	L	2	2	○									
		道徳理論と指導法	L	3	2	○									
目標群	目標	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2	2	○									
		教育方法・技術論（ICT活用を含む）	L	2	2	○									
		生徒指導論（進路指導を含む）	L	3	2	○									
		教 育 相 談	L	2	2	○									
		教育実習指導〔中・高〕	P	3~4	1	○									
	群	教育実習〔中学校〕	P	4	4	中○							△		
		教育実習〔高校〕	P	4	2	高○							△		
		教職実践演習〔中・高〕	P	4	2	○									
		教 職 演 習 I	P	2	1										
		教 職 演 習 II	P	2	1										
		教 職 演 習 III	P	3	1										
		教 職 演 習 IV	P	3	1										
		教 職 演 習 V	P	4	1										

区授業科目分目	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			免許・資格								備考	
				必修	選択	自由	保育士	障がい者	アシスタント	(公認)マネージャー	(アシスタン	実践康	健	*インストラクター	トレーニング	
専門科目群 展開科目	スポーツコーチ演習 I	P	2		1											展開科目 40単位以上
	スポーツコーチ演習 II	P	2		1											
	スポーツコーチ演習 III	P	3		1											
	スポーツコーチ演習 IV	P	3		1											
	健康トレーナー演習 I	P	1		1											
	健康トレーナー演習 II	P	2		1											
	健康トレーナー演習 III	P	2		1											
	健康トレーナー演習 IV	P	3		1											
	健康トレーナー演習 V	P	3		1											
	健康トレーナー演習 VI	P	4		1											
演習科目群	基礎演習 I	S	1	2												必修16単位
	基礎演習 II	S	1	2												
	専門基礎演習 I	S	2	2												
	専門基礎演習 II	S	2	2												
	専門演習 I	S	3	2												
	専門演習 II	S	3	2												
	専門演習 III	S	4	2												
	専門演習 IV	S	4	2												

\* 現場実習で「事業参加」の領域を修得すること。